

丸亀武道館一心会 指導概要

(1) 指導の方針

指導目標

日々、一生懸命真摯に稽古することを第一義とし、その過程が最も大切であることを念頭において指導に当たり、その稽古で積み重ねられてきた結果、子ども達が心身共に鍛えられて勝負にも勝ち、丸亀武道館一心会で厳しい稽古に耐えることによって、自信と誇りと達成感を持たせて、次の段階に進む橋渡しをする。

また、気剣体一致した基本的な動作と所作や礼儀作法などを正しく身につけることに重点をおき、将来を見据えた指導をし、生涯にわたる人間形成の道の一助と成す生涯剣道を目指す。

(2) 指導の方法

少年部

1) 応用科と基礎科と初心科の三科とする。

① 応用科は、基礎科を修了したと師範が認めた者とし、基本と応要技を主に行う。

② 基礎科は、初心科を修了したと師範が認めた者とし、基本を主に行う。

③ 初心科は、礼儀、作法、所作、基本動作、構え、正しい基本打ちを、習得できるまでとする。

2) すべての科は、学年と修行年数に関係なく、技量の習得度を基準とする。

(3) 指導内容

丸亀武道館一心会会長が、作成した剣道指導カリキュラムの、内要に則って指導する。(剣道指導カリキュラムは、丸亀武道館一心会のホームページに掲載している)

指導者一覽

師 範

教士八段 白 石 義 照

指 導 者

教士七段 今 西 徹 夫

教士七段 吉 久 健 造

錬士六段 渡 邊 武 司

六 段 永 田 博 英

六 段 横 田 昌 明

五 段 藤 原 武 俊

五 段 今 西 勇 介

四 段 松 下 寛 長

四 段 松 尾 一 生

三 段 富 田 徳 久

三 段 高 井 英 二

三 段 星 賀 翔 子

指導部役割分担

総括 白石 義照

応用科

(低学年・高学年)

渡邊 武司 藤原 武俊 今西 勇介

基礎科

今西 徹夫 横田 昌明 松尾 一生

初心科

吉久 健造 富田 徳久 高井 英二

補助者

永田 博英 松下 寛長 星賀 翔子 岩本 敏紀